

活動報告

令和2年度 寿小池町会「子ども広場」

1 「子ども広場」

- (1) 趣旨：松本市の補助制度（子どもの居場所づくり推進事業）を活用し、小池公民館を拠点にして、子どもに食事や団らんの場を提供するとともに、学習のお手伝いや生活体験の支援、地域の文化の伝承などを通じ、つながりを深め、子どもたちの生きる力を育むことを目指す。
- (2) 事業内容：食事の提供、学習支援、生活体験や伝統行事、レクリエーション、生活相談に応じる。
- (3) 毎月1回。原則最終週の土曜日開催。午前10:00～2時間以上。
- (4) 地域の小学校1年生～6年生を対象。参加者無料。
- (5) 運営主体は、寿小池町会子ども広場運営委員会。町会長を含む運営委員12名。協力者22名。3つのグループに分かれ月毎分担して活動。
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策
受付時、手の消毒、検温・体調・県外移動等の問診表記入、マスクの着用。机の消毒。三密を避けるため、大会議室使用。距離を置き長机に2人、前向き。大声でしゃべらない。窓を開け、エアコンをONにして換気等の対策をとる。

2 活 動



4月25日

モロコシの播種。

←

5月8日 5月23日

コロナの早期収束を願いながら
スイカとサツマイモの定植。 ↓



7月18日 開所式

3月遅れで開所式。主催者や来賓の挨拶の後、子どもたちがくす玉を割って開所を祝う。

その後、モロコシ畑に移動し、大人の手を借りて、茎からもぎ取る際の「ボキッ」という音の感触を味わいながら収穫体験。

くす玉割り↓



モロコシの収穫↓



8月29日

食べ頃のスイカの見分け方などをスタッフから教わり大きなスイカ8玉収穫。



自由学習の時間

高学年の子どもたちが熱心に宿題に取り組む。 ↓



9月19日

9月は小池神社のお祭りがあることから、宮司さんにお宮のことや、参拝の仕方などを教えて頂いた。

→



スタッフ

9月はBグループ食事担当による「おはぎ」づくり。 →

もち米とうるち米は8：2

まだ会食ができないので、舟形トレイに入れ持ち帰ってもらう。





のぼり旗

子ども広場開催の週には、お知らせの「のぼり旗」を町内5箇所に立てる。

10月24日

サツマイモ掘り



太くて大きな芋を収穫

11月28日

焼き芋大会（神社境内にて）



境内の落ち葉集めは、前もって、神社総代、高齢者クラブ、当番の常会が準備。

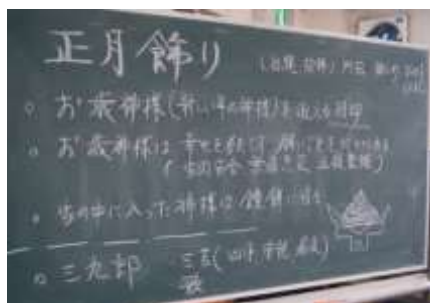
12月19日

午前 正月飾りの話

お新しい年の神様を
迎える目印

板書↓

わじめと
おやす →



午後 正しめ縄づくり講座 (子ども会育成会と共催)



「リース型しめ縄」に
松や南天、紙垂をつけてできあがり。
難しい「ごぼう締め」にも挑戦。

パック入り「切り餅」テイクアウト。

コロナ感染警戒レベル「5」のため

1月 凧づくり (中止)

2月 凧あげ (中止)

3月 27日

マリンバコンサート

やさしい音色

トレモロに

うっとり →

(公民館と共催)



3 振り返りと今後の展望

- 1 コロナ禍の中、毎回感染対策を行って実施。
- 2 4月～3月までの、延べ参加者は、318人(子ども140人、大人178人)。
モロコシの収穫やサツマイモ掘り、焼き芋大会は参加者が多かった。
- 3 食事を通した団らんの場の提供はできなかった。しかし、食事担当スタッフが、言葉かけをしながら、一人一人に持ち帰りの食事を手渡すことはできた。
- 4 町会内の他団体と連携し、共催や協力をいただくことができた。
- 5 子どもの居場所づくりは、同時に大人同士もつながっていく場づくり。
協力者グループ内のチームワークや親睦がより一層深まっていくことを期待する。
- 6 町会役員OBや在宅高齢者等の掘り出しをして、協力者を増やしていきたい。同時に、学習支援スタッフの充実も図りたい。
- 7 何よりも、コロナの早期収束を願う。

以 上